









様式第8号（第6条関係）

決	議長	局長	次長	係長	係	員
裁				 		 

派遣承認要求書

令和2年1月9日

栗原市議会議長 殿

会派名 社民党栗原市議団

代表者氏名 佐藤 悟



下記のとおり議員を派遣したいので、承認されるよう要求します。

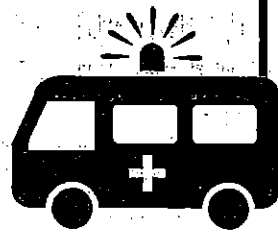
記

日時	令和2年2月1日（土） 10時30分から16時30分まで
派遣先	東京都「中央区立日本橋公会堂」
派遣目的	健康とくらし問題セミナー運営委員会主催 第9回医療・病院・介護問題セミナーの受講
経費	受講料 16,000 円 旅費 52,400 円
派遣議員氏名	佐藤 悟、高橋 勝男
議長依頼文の要否	要 <input checked="" type="checkbox"/>
備考	



問題セミナー  
医療・病院・介護  
第9回

介護・患者負担増  
病院統廃合で  
どうなる？  
どうすべきか！



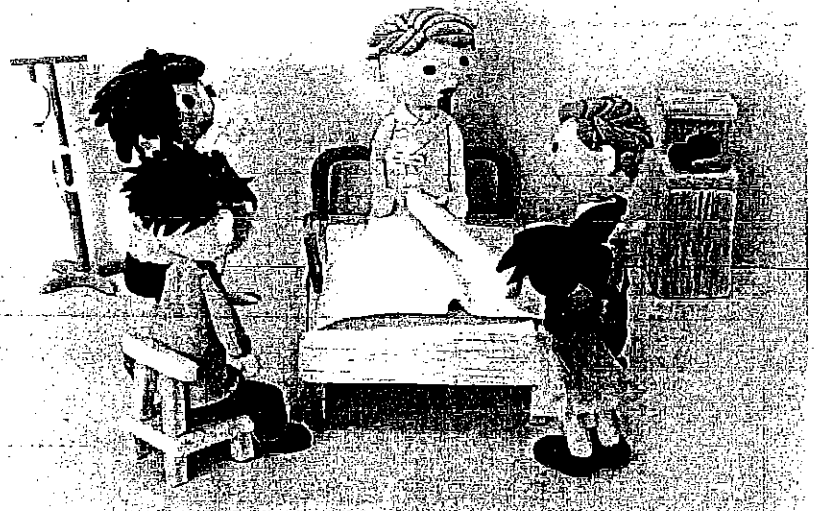
2020年

2月1日(土)

10時30分～  
16時30分  
(受付10時10分～)

会場：後日連絡いたします  
(都内23区の区民館を予定しております)

一般	6,000円
自治体職員	8,000円
町村会職員 研究会会員	5,000円



主催

健康とくらし問題セミナー運営委員会  
(全国労働安全衛生研究会・権利問題研究会)

連絡先

一般社団法人 全国労働安全衛生研究会  
〒400-0024 山梨県甲府市北口3-7-13

TEL

055-253-6790

FAX

055-254-4403

MAIL

jimu@rouanken.org

① 10:40~12:00 「地域医療構想と公立病院の現状と今後」

講師 白井 桂子 (自治労法律対策労安前部長)

社会保障を壊す医療・介護を一体とした制度的合理化がはじまっています。特に公立病院は、地域医療構想の具体化がはじまり、統廃合・医療内容の大きな後退が目指されています。

② 13:00~13:50 「困難にされている介護事業所と介護利用者の実態」

講師 千吉良厚子 すずかけの家理事長

地域の介護事業所も運営と経営難が続き縮小・倒産も続いています。当然、介護職員の離職率も高い状態です。利用者も著しい負担増でさらに厳しい状態になっています。

③ 14:00~15:20 「公立病院は赤字、介護事業は財政難・・・なぜか？」

講師 山田 厚 全国労働安全衛生研究会代表

重い保険料と患者・利用者の負担。しかも「財政難」「赤字」なぜか？問題ある会計制度や消費税の仕組みを取上げ、「自助・共助」にされない自治体からの対応策を考えます。

④ 15:30~16:30 意見交換とまとめ

参加者間の意見交流会です。私たちはどのように考え、どう対応すべきか？ レポート・資料などの持ちよりも歓迎します。レポーター希望者は事前に申し出てください。

医療・病院・介護問題セミナー

お申込みは、FAX:055-254-4403 で願います。

氏 名	備 考	[会員]	[一般]
所 属	役職		
	自治体議員 自治体議会名		
連 絡 先	〒		
	TEL	FAX	メール

## 視察研修結果報告書

令和2年2月12日

栗原市議会議長 佐藤 久義 殿

社民党栗原市議団

代表 佐藤 悟



視察・研修した結果について、下記のとおり報告します。

### 記

- 1 期 間 令和2年2月1日（土）午前10時30分～午後4時
- 2 視察研修先 東京都「中央区日本橋公会堂」
- 3 目 的 健康とくらし問題セミナー運営委員会主催  
第9回医療・病院・介護問題セミナーの受講
- 4 調査研究内容
  - 1 「地域医療構想と公立病院の現状と今後」
  - 2 「困難にされている介護事業所と介護利用者の実態」
  - 3 「公立病院は赤字、介護事業所は財政難・・・なぜか？」
  - 4 意見交換とまとめ
- 5 参加議員 佐藤 悟、高橋 勝男



## 第9回医療・病院・介護問題セミナーの参加報告書

栗原市議会議員 佐藤 悟

とき 2020（令和2）年2月1日（土）午前10時30分～16時  
ところ 東京都「文京区公会堂」  
主催 健康とくらし問題セミナー運営委員会  
（全国労働安全衛生研究会 権利問題研究会）

講演は

- 1 「地域医療構想と公立病院の現状と今後」  
講師 白井 桂子 氏（自治労法律対策労安前部長）
- 2 「困難にされている介護事業所と介護利用者の実態」  
講師 千吉良厚子 氏（すずかけの家理事長）
- 3 「公立病院は赤字、介護事業は財政難…なぜか？」  
講師 山田 厚 氏（全国労働安全衛生研究会代表）
- 4 意見交換とまとめ

1 地域医療構想と公立病院の現状と今後について、報告いたします。

- 2019（令和元）年9月26日発表の「地域医療構想」では全国1,652の公立公的病院のうち、重症患者を扱う「急性期」病床のある1,455病院の診療実績をもとに分析。「診療実績が乏しい」「代替する民間病院が近くにある」などの基準をもとに計424を「再編・統合が必要」とした。
- 2025（令和7）年を目標に全国339区域に分けて「地域医療構想調整会議」（以下調整会議）を置き、病院関係者が話し合っって規模や役割を見直す「地域医療構想」を進めている。
- 急性期病床の削減であり2020（令和2）年9月末まで結論を出し、報告するよう求めている。
- 「全国の病院は約8,000ヶ所うち7割は民間病院であり、民間病院と併せて、地域の医療体制の在り方を検討すべきだ」、との主張がある。
- 地域事情を考慮した対応が必要で、知事の役割が重要と指摘された。

● 国は地方三団体等の意向を踏まえ、令和2年1月17日に各都道府県に対して「公立・公的医療機関等の具体的対応方針の再検証等について」を発出しました。同日、公立・公的及び民間医療機関の診療実績データと分析結果を提供した。

● 精査の結果、現時点で7機関が再検証対象医療機関から外れ、新たに、公立・公的病院が追加(公表はされていない)される見込みである。

● 都道府県単位の「調整会議」では、病床機能報告の内容と病床の必要量を比較し、地域において優先して取り組むべき事項の協議、また、在宅医療を含む地域包括ケアシステムの構築や、医療従事者確保及び診療科ごとの連携などを検討する。

また、

- ① 地域の病院有床診療所が担うべき病床機能の協議。
- ② 病床機能報告制度による情報等の共有。
- ③ 都道府県計画に盛り込む事業の協議。
- ④ 地域医療構想の達成の推進の協議。

となっており、その役割が大変重要であり、今後の議論出される報告(結論)によって、地域医療体制、私達市民の生命、健康に、大きな影響を及ぼすことになる。

「地域医療構想」では栗原市立栗駒病院・若柳病院がリストに載っており、今後、注視・研究し、地域医療体制の再構築、市民の生命と健康を守る立場から取り組んでいかなければと強く感じました。

「医療・病院・介護問題セミナー」に参加して

栗原市議会議員 高橋勝男

栗原市でも、平成28年度から令和2年度までを期間とする「栗原市病院事業第3次経営健全化計画」が進められている。また、その計画の推進状況を点検・検証する、栗原市立病院経営評価委員会から年度ごとに報告書が提出されている。その報告書の中では、病床数の削減と3病院・4診療所の機能分担の見直しなどが示されており、現在、コンサルによって栗原市立病院事業の方向性について検討が進められ、今年度中にその報告が示される予定になっている。

また、厚労省は昨年9月26日に全国で424の公立・公的病院の再編・統合が必要と病院名を公表した。その中に栗原市の栗駒病院と若柳病院が含まれていることから、病院が無くなるのではないかと不安の声があることから、今回のセミナーに参加をした。

セミナーは、「地域医療構想と公立病院の現状と今後」「困難にされている介護事業所の介護利用者の実態」「公立病院は赤字、介護事業所は財政難・なぜか?」「意見交換とまとめ」という事で進められた。

今回のセミナー全体を通して印象に残っている事は、昨年9月に厚労省が発表した統廃合が必要とした424病院の選定は、人口100万人以上の区域に位置する病院を除き、重症患者を扱う「急性期」病床のある1455病院の診療実績を基に分析。心疾患、脳卒中、救急など9分野の高度医療について「実績が乏しい」「代替する民間病院が近くにある」などの基準のもとに、公立病院257、国立病院機構や済生会などの公的病167が公表されている。この中には、地震で大きな被害を受け建替え中の熊本市立熊本市民病院（熊本県）や日本で一番の病院と言われる東京都の社会福祉法人恩賜財団済生会支部東京都済生会中央病院も建替え中の為、「実績が乏しい」という事で含まれて公表されたという事で、実態を無視した機械的な基準で行われた事である。この事から、令和2年1月17日に厚労省は、各都道府県に対し、「公立・公的医療機関等リスト」を提出し、その中で7医療機関を外し、新たに20医療機関（未公表）を追加したとの報告を受けました。

また、「地域医療構想」についても触れられ、「地域医療構想の策定に当たって、都道府県は医療需要に対する医療供給を踏まえて、2025年の病床の必要量を推計する。これは、病床機能の分化・連携に向けた議論の為であり、過剰な病床機能の削減ではなく、不足している機能の病床の手当てが目的である」という事が強調された。

介護事業と利用者の現状では、「利用者は介護サービスという商品をお金で買う状況で、お金がなければ十分なサービスが受けられない」「施設に入所すると

一ヶ月14～15万円必要で、国民年金では入れないので、家族間で誰が費用を負担するのかわからない事もある」「毎日デイサービスを利用したいが限度額を超えると10割負担になるので利用を制限している」等の声がある一方で、施設側からは「施設の増加で生き残り競争になっている。利用者が一人でも入院すると1か月30万円位の減収になる」「職員の取り合いで人件費が増大している」「施設内での事故、転んで骨折すると、損害賠償問題になる。そのための損害保険や顧問弁護士・裁判表などの負担もある」との報告があり、入居者の負担と合わせ事業者も大変な状況の中にある事を知る事ができた。

これから、栗原市の病院事業の在り方について、本格的に議論がされていく事になるが、病院事業の赤字・黒字が議論の中心にならないようにしなければならない。

一方、民間病院や医院の状況についても、考えながら、少子・高齢化・人口減少の中で、必要とれる医療とは何か、公立病院の在り方を市民も含め協議されなくてはならないと感じた。



# 令和元年度栗原市議会 会派「社民党栗原市議団」研修行程

日程 令和2年2月1日(土)

月日 (曜日)	行 程	発	着	摘 要
2月1日 (土)	くりこま高原駅 ～ 東京駅	6:57	8:56	JR新幹線はやぶさ102号
	大手町駅 ～ 水天宮前駅	9:22	9:27	東京メトロ半蔵門線
	【研修】 第9回医療・病院・介護問題セミナー 「地域医療構想と公立病院の現状と 今後」	10:40	12:00	
	「困難にされている介護事業所と介 護利用者の実態」	13:00	13:50	
	「公立病院は赤字、介護事業は財政 難…なぜか？」	14:00	15:20	
	意見交換とまとめ	15:30	16:30	
	水天宮前駅 ～ 大手町駅	17:24	17:28	東京メトロ半蔵門線
	東京駅 ～ くりこま高原駅	17:56	19:52	JR新幹線はやぶさ107号